

報道関係者各位
2016年7月28日

TSX/NYSE/PSE: MFC

SEHK: 945

マニユライフ生命の 平成 28 年熊本地震に対する義援金の寄付について

4~6 月期の新契約 1 件につき 200 円の寄付を含む合計額は 2,850 万 7,098 円に

このたびの熊本県を中心とする地震で亡くなられた方々にお悔み申し上げますとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

マニユライフ生命保険株式会社(代表執行役社長兼CEO: ギャビン・ロビンソン、本社: 東京都新宿区、以下「マニユライフ生命」)が、「平成 28 年熊本地震」の被災地の復旧にお役立ていただくために寄付する義援金の総額が 2,850 万 7,098 円となりましたのでご報告します。

地震発生後に当初 500 万円の寄付を発表いたしました。総額には、それに加えて、4 月 1 日~6 月 30 日までの間にご契約いただいたすべての新契約 1 件について 200 円の寄付金、さらに、マニユライフ生命社内で役職員有志から募った金額と会社が同額を上乗せしたマッチング寄付が含まれます。対象となった新契約は、自社営業職員チャネルだけでなく、銀行、代理店等を通じてお取り扱いした契約もすべて含まれています。

義援金は、社会福祉法人中央共同募金を通じて熊本県、大分県に寄付されます。すでに一部は寄付されています。

被災地の一日も早い復旧と復興を心よりお祈り申し上げます。マニユライフ生命は今後も、微力ながら復旧支援に向けて尽力してまいります。

マニユライフ生命について

マニユライフ生命は、125 年以上の歴史を持ち、カナダを本拠とする大手金融サービスグループ、マニユライフ・ファイナンシャル・コーポレーション(マニユライフ)のグループ企業です。プランライト・アドバイザー(自社営業職員)、金融機関、代理店の 3 つの販売チャネルを通じて、法人ならびに個人のお客さまへ、先進的な商品と質の高いサービスを提供しています。ブランド・スローガン「今日を生きる。明日をひらく。」のもと、お客さまが自ら健康で豊かな未来を切りひらいていくためのサポートをしています。詳細はホームページ(www.manulife.co.jp)をご覧ください。

マニユライフについて

マニユライフ・ファイナンシャル・コーポレーション(マニユライフ)は、世界有数の大手金融サービスグループです。米国においてはジョン・ハンコックのブランドで、その他の地域ではマニユライフとして事業を行い、お客さまの資金や金融面における重大な決断をサポートする先進的なソリューションをご提供しています。マニユライフは個人・団体・機関投資家のお客さま向けに、ファイナンシャル・アドバイスや保険、資産運用・形成のための商品やサービスをご提供しています。2015 年末現在、マニユライフは世界中で 34,000 人の職員と 63,000 人のエージェンต์および数千の販売パートナーを擁し、2,000 万人のお客さまに商品やサービスをご提供しています。マニユライフの管理運用資産は、2016 年 3 月末現在およそ 9,040 億カナダドル(6,970 億米ドル)です。また、過去 1 年の間にお客さまにお支払いした保険金、給付金および利息は 249 億カナダドル超となりました。マニユライフは主にカナダ、米国、アジアで 100 年以上にわたって事業を展開しています。カナダのトロントに本拠を置き、トロント証券取引所、ニューヨーク証券取引所およびフィリピン証券取引所においては「MFC」の銘柄コードで、また、香港証券取引所では「945」で取引されています。詳細はウェブサイト(www.manulife.com または www.johnhancock.com)をご覧ください。

